連合長野 かべ版 ニュース

秋号 [No43] 2011.11.10

発　行　日本労働組合総連合会
長野県連合会
発行人　根橋　美津人

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F
TEL 026−234−1626　FAX 234−1349
E-mail　info@rengo-nagano.jp
http://www.rengo-nagano.jp/

復興・再生に全力を尽くし「働くことを軸とする安心社会」につなげよう！

新執行部を代表して挨拶する中山新会長

近藤前会長退任挨拶

千野議長・鈴木議長の挨拶

つながりの運動を目指して

10月28日長野市で第23回定期大会を開催しました。開会に先立ち、参加者全員で、震災で亡くなられた方々に対し黙とうを捧げた後、近藤会長より「被災地の復興・再生を全力で支えて行くことが私たちに課せられた第一の課題。“働くことを軸とする安心社会”の実現に向け行動をスタートさせよう」と述べ、組織拡大、ディーセントワークの実現、安心社会の構築などの2年間の方針を確認しました。役員の選出では、中山千弘会長を新たに選出、本大会限りで勇退となった近藤光会長は顧問に就任しました。

2012・13年度　連合長野役員体制（四役のみ）

会　長	中山	千弘	サービス・流通連合
副会長	関	政人	ＪＡＭ甲信
	中村	明文	自治労
	小池	政和	電機連合
	師玉	憲治郎	ＵＩゼンセン同盟
	泉澤	昭平	電力総連
	原田	幸一	ＪＰ労組
	小林	和雄	農団労
	中村	雅代	自治労
事務局長	根橋	美津人	電機連合
副事務局長	徳武	淳	情報労連

―地域に根ざした 顔の見える 労働運動を目指した新年度方針を確認―

「働く貧困層の解消」などを訴え！

―ディーセントワーク世界一斉行動を長野市で―

10月7日、長野市の南千歳公園で、「ディーセントワーク県集会」を開催しました。非正規労働者が雇用労働者の38.7%にのぼり、不安定雇用、低賃金労働者の問題が拡大し、貧困という言葉が切実に感じられます。

集会終了後、「労働者の使い捨ては許さない」などのシュプレヒコールを行ないながら、長野駅までデモ行進により市民に訴えました。

日本の農業と食糧問題を考える契機に!!

―世界食糧デーの行動として、長野・松本で街頭行動を実施―

10月14日、長野駅前と松本駅前で「世界食糧デー」〔10月16日〕を前にした「チラシ／えのき茸」の配布行動を行いました。

「チラシ／えのき茸」の配布

世界食糧デーは国連が定めた「世界の食糧問題を考える日」、連合長野は2008年からこの配布活動を取り組み、食糧自給率の向上や持続可能な農業政策の確立等を呼びかけています。世界の人口が急増する中で、飢餓に苦しむ多くの人々がいます。食糧デーを機に、こうした現状を真剣に考えましょう。

ともに支え合う、確かな暮らしが大切

―阿部守一県知事に「暮らしを守る県政」の提言を行なう―

連合長野は、10月20日阿部知事に対しての「2011長野県政要請」を実施した。東日本大震災・長野県北部地震からの復興・再生も含め、雇用・経済問題、公契約条例の制定、公共交通課題等、について提言を踏まえ、率直な意見交換が行なわれた。

「働くことを軸とする安心社会」に対する一定の共感も知事から示され、長野県における雇用環境の改善にむけて、連携して進めていくことが共有されました。

被災地は、まだまだ大変な状況

―東日本大震災被災地支援の連合長野独自ボランティア―

10月6～8日まで、宮城県七ヶ浜町への被災地支援ボランティア派遣を行ないました。ボランティアセンターでの打ち合わせの後、家屋跡の泥出しや林道整備の手伝いなど、二泊三日の短期間でしたが被災地の復旧に向けた一助になりました。

これから冬に向かいます。これからも息の長い支援活動の必要性を感じた3日間でした。